



議員 幸 晃 脇 門 会 生 蒼

## 仙北市でのヤングケアラーの現状は

市長

深刻な事例はないと認識している

### ヤングケアラーについて

**質問** 仙北市ではどのような現状なのかについて伺う。

**答弁** 令和3年度に文部科学省がアンケートを行っており、仙北市の各校が回答している。ヤングケアによる不登校や、休みがちな児童生徒などの深刻な事例はないものと認識している。

**質問** 国や県の動向を踏まえ、仙北市の今後の対応を伺う。

**答弁** まだ世間一般での認知度が低く、家事や家族の世話が日常となっている子ども自身も自覚がなければ、周囲に悩みを打ち明けることがほとんどなく、表面化しづらいと



■定義が曖昧で把握が難しいヤングケアラー

いう側面も深刻である。認知度を上げ、子どもが相談しやすい環境づくりを進める必要があると考えている。国や県と連携しながら、実態調査をしっかりと行い、情報を収集していきたい。

**質問** 国では、文部科学省と厚生労働省の両方で対応しているが、市では、教育委員会と市民福祉部が対応しているか。

**答弁** (教育長) 子どもとの信頼関係を構築して、何でも学校で悩みを相談できる体制が大切と考える。今後も市の福祉と共に、そして他の機関とも連携し、子どもの情報をつかみながら、サポートしていきたい。

**答弁** (市民福祉部長) こども

家庭庁などの国の動きもあるので、市民福祉部も第一義的に関わっていききたいと思っている。

### 第三セクターの再編について

**質問** 平成23年7月から三セクの4社について、経営コンサルタントによる経営診断に着手し、経営改善策や、新たな役割の可能性について提案頂き、今後の在り方を早期に検討するとしていた。内容と経緯を伺う。

**答弁** 平成23年の経営コンサルからの提案は、統合することだった。しかし、現場から単独での経営を望む声が多いことや、統合に向けてクリアしなければならない課題が多いこと、また、新たな取り組みとして民間企業からの増資による経営基盤の強化、4社の経営課題や財務状況等の情報共有などの対応策が示されたため、当面は4社単独で、経営目標の達成に向けて成果を見極めることとした。

**質問** 山田コンサルの報告を基に、市は三セクの再編案を作成したが、山田コンサルの報告はもっと厳しい内容ではなかったのか。

**答弁** 経営分析をした現状は大変厳しい状況にあるが、市としては、全ての施設を存続させる前提での分析をお願いしており、最大限それぞれの施設の強みを生かした形、弱みを補完する形で統合していくべきだという見解だった。プールなどの福祉的な部分もあるが、市の指定管理料を入れても厳しい現状だが、4つの施設を残していく統合案を進めている。

**質問** この再編案は決定ではなく、今後変更もありうる。としているが、特段の議論がない限り再編案は計画として遂行されていくのか。また、それぞれの三セクの執行権者やスタッフによる事業再編を検討する予定はないのか。

**答弁** 今後については、統合した新会社の経営陣が、あらためて事業を精査し、経営計画等を策定することになる。新会社の社員の皆さんとの意見交換も必要であると思うし、私もそこに関わってきたい。今働いている人たちが、より幸せになっていただくような統合を目指していきたい。

(西宮三春記)

用語解説

・ヤングケアラーとは…病気や障害のある家族の世話を日常的に行っている子どものこと

## 少子化に歯止めをかけ 婚姻率・出生率を高めるには

公明党 熊谷一夫 議員



市長

## 女性が安心して働ける企業の誘致を 在任中に実現したい

### 学校施設のZEB化 の推進について

**質問** 地球規模での環境問題への取り組みであるSDGsや、2050年カーボンニュートラル達成に向けての取り組みが急務である。そのためにも公共施設の中で大きな割合を占める学校施設の「ZEB化」が必要である。仙北市の学校施設長寿命化への現在の進捗状況について伺いたい。

**答弁** 学校の長寿命化の改修工事は、多額の費用が見込まれるため、令和8年度までに、学校適正配置計画を策定し、統合、再編等と一体で増改築、新築等を考えていくこととした。それまでの間は、劣化が見られる屋根や外壁等の修理を行っていく予定である。

**質問** 学校施設のLEDや二重サッシといった、部分的な「ZEB化」事業も国の補助対象になるので、有効に活用してはどうか。

**答弁** 現在、学校施設環境改善交付金に係る、令和5年度の概算要求資料を、県を通じて文科省に提出している。採択されれば、9校のトイレの洋式化や、11校の体育館の

LED化が施工できるので、採択を強く願っている。

### アルパこまくさの営業時間の見直しを

**質問** 自然ふれあい温泉館（アルパこまくさ）の営業が第三セクターから市の直営に変わり、営業時間が10時から16時と短くなった。受付は15時30分で終了であり、常連の市民や観光客の方々から、多くの苦情が寄せられている。現在の営業時間を妥当と思うか伺う。

**答弁** 今年度から、市の直営となり、営業時間を知り、私も妥当だとは思っていない。市直営となり、会計年



■アルパこまくさ露天風呂からの景色

度任用職員制度の下での勤務時間の制約や売上商品管理等の課題、利用者が減少し、老朽化や燃料費高騰等により、管理経費は上昇しているという経費面の課題がある。これらの課題を検討し、比較的登山者利用の多い時間帯を優先させた結果、現在の営業時間となった。

**質問** 市民からは、対応が非常に事務的だったとの話も耳にすれば、役所目線ではなく、民間目線、市民目線で営業時間の見直しを行うべきと思うがどうか。また、今後、市直営の運営を継続していくのか伺う。

**答弁** 市の直営になって、「営業時間が短くなった。」「サービスが悪くなった。」となれば、お役所仕事と評価されてしまう。今後は、少しでも営業時間を延ばせるように、会計年度任用職員の増員を検討している。また、令和5年度までは、市直営で収支等を分析し、令和6年度からの民間事業者等の運営を考えている。

### 少子化対策について

**質問** 少子化の現状と傾向をどう受け止め、どう歯止めをかけていくのか。また、今後の婚姻率、出生率を高める施策はあるのか。

**答弁** 令和3年度の出生数は75人であり、危機的な状況と捉えている。少子化に歯止めをかけ、婚姻率、出生率を高めるには、結婚、妊娠、出産及び乳児期を中心とした、子育てに対する寛容の高い社会を実現すること。そして、安定的な収入を得られる、特に女性が安心して働ける、働きたいと思える企業の誘致が最重要課題と考えている。この企業誘致は、私の市長在任中に実現したい。

(小田島広仁記)

用語解説

・ZEBとは…建物で消費する年間のエネルギーの収支ゼロを目指した建物のこと



日本共産党 平岡 裕子 議員

加齢性難聴者の補聴器購入助成の実現を

市長 必要性は十分感じているので早期に予算化する

高齢者の積極的な社会参加のためにも補聴器購入助成を

**質問** 補聴器購入助成の一般質問は3回目になる。市ではアンケート調査も実施し、市民の要望に応えるべく、助成の要綱等も検討されていた。2回目の質問に門脇前市長は、「令和4年度には実現したい。」と答弁したが、予算化されていない。事業実施できなかつた理由を伺う。

**答弁** 前市長から、補聴器助成の引継ぎはなかつた。市長に就任してすぐに、令和4年度の当初予算の査定が始まり、厳しい財政を立て直すという覚悟が強く働き、新規事業への予算措置を見送つた経緯がある。

**質問** 令和4年度に助成すると言つたのは前市長の行政、予算措置は現市長の行政となる。行政運営の連続性についての所見を伺う。また、補聴器購入助成について、実現はいつになるのか具体的に伺う。

**答弁** 前市長の答弁は、市としての答弁だと捉



■購入助成の実現が待たれる補聴器

えている。当然、私も責任を引き継ぎ実現に向けて、取り組んでいきたいと考えている。私の祖父は、両耳に補聴器を着けていたので、補聴器の必要性は十分に感じている。購入の助成については早期に予算化する。

子育て支援と教育費負担軽減の更なる充実を求めて

**質問** 昨年の出生数は、100人を大幅に下回つた。子育てへの思い切つた施策が必要ではないか。

①0歳から2歳児の保育料の無料化

②保育園での使用おむつ無償配付

③誕生から1歳までのおむつ無償配付

④在宅子育てサポート事業、プランの見直し(対象年齢引き下げ&おむつ購入可)

⑤就学援助内容に眼鏡、コンタクトレンズも該当に

⑥学校給食の無料化

**答弁** 子育て支援の必要性を痛感している。大切な子どもたちを全力でサポートしたい。

①0歳から2歳児の保育料は、所得による助成などで約56%が実質無料となつているが、他市町村の施策も参考に、助成割合の引き上げを検討したい。

②現在のところ検討していない。使用済みおむつの持ち帰りの解消を検討中である。

③誕生祝い金と児童手当で23万円の経済支援がある。

④対象年齢の引き下げや育児用品の購入拡大は、今後検討したい。

**答弁(教育長)** ⑤現時点では、眼鏡、コンタクトレンズは考えていない。

⑥今年度は、7月から10月までの児童生徒の給食費を減免する。今後も対象となる交付金の活用など、市当局との連携により、保護者負担の軽減を検討していく。

冬期間の安心安全生活道路の確保を

**質問** 昨冬は、明け方の降雪が多いためか、除雪車が出動せず、通勤通学に支障があつたとの苦情を聞いた。深夜でない除雪車が出動できないければ、何らかの対策が必要ではないか。また、燃料の価格が高騰しているが、今年度の除雪費に十分な経費が確保できるのか。

**答弁** 仙北市は、除雪範囲が広く、23時での出動判断となることにご理解を頂きたい。明け方の降雪対応については、引き続き検討していく。また、除雪費については、燃料価格がもつと上がる可能性もあり、経費のかかり増しが想定されるので、それに備えて財源措置を確保していきたいと考えている。

(中村和彦記)

# 老朽化が著しい市民会館を 今後どうするのか

田口 寿宜 議員



市長

## 文化の拠点であり財源を確保し 何らかの形で継続させたい

### 仙北市民会館老朽化 による安全性と今後 について

**質問** 文化芸術活動及び、市民活動の拠点である仙北市民会館が42年目を迎えた。この間、外壁や天井等、耐震工事は実施したが、5年前の私の一般質問に対し、「吊り物の更新を最優先に、電気設備、舞台照明等について順次計画していく。」と答弁された施設整備に関しての進捗状況を伺う。

**答弁**（教育長） 仙北市民会館の整備と存続は、もともと重要な案件と捉えており、市長部局と同施設の必要性を高く共有し、現場説明も含め複数回打合せを行っている。施設の改修に莫大な経費が必要となることから具体的な実行計画まで至ってはいいないが、現在、財源確保のため、あらゆる手法で模索しているところである。

**質問** 私もメンバーである「仙北市民会館在り方検討会」から、11項目の具体的な改善内容を明示した提言書を



■吊り物等の老朽化が心配な仙北市民会

提出している。この提言書を受けての市としての考えを伺う。また、市民会館を将来に残していくために、計画的な部分改修、あるいは大規模改修、思い切って建て替えなど、どの道を選択して未来に受け継いでいくのか伺う。

**答弁**（教育長） 提言書は、市長部局とも共有している。市民会館は、将来へ残すべき施設であり、重要な施設として位置付けている。改修、建て替えのいずれにしても、財源の確保が喫緊の課題であり、調査研究している。文化水準を上げる活動のパロメー

ターとして、平福記念美術館や新潮社記念文学館と共に、市民会館も仙北市の文化の拠点として、何らかの形で継続させていきたいと考えている。

### 地域の宝「いぶりがっこ」の販売に支援を

**質問** 改正食品衛生法が施行され、漬物製造業に営業許可が必要となり、令和6年5月までの猶予期間に整備を整えなければ、これまでのように、いぶりがっこを誰でも気軽に販売できなくなる。今後、いぶりがっこ販売を続けたい方々に、県の補助金の周知を図ると共に、市として独自の支援を行っていくべきではないか。

**答弁** 今年度の当初予算で、農業夢プラン型戦略作物等生産基盤拡大事業に、漬物加工所施設整備1件が予算計上されている。仙北市では県の補助金3分の1に加え、6分の1のかさ上げ補助金を支給する。漬物加工



■漬物文化を守るためにも市の支援を！

所の施設整備は、令和6年5月まで整備が必要であることから、補助事業等の周知を図り、安全・安心な漬物づくりの環境を整え、農家の支援に努めていく。

**質問** 現在、20〜30のグループや個人が、いぶりがっこを販売していると聞いている。市として、この方々が今後どうしたいのかをしっかりと把握して、販売を続けたい方々に対し、市はどう対応するのか。

**答弁**（農林商工部長） 安全・安心な漬物作りのために、今後、漬物製造施設の整備等について要望調査を実施し、事業を継続される皆様には、可能な限り、来年度の予算で支援したい。

（澤田雅亮記）



荒木田 俊一 議員

三セク経営統合の遅れは  
計画がずさんだったのではないか

市長 見通しが甘かった 大変申し訳なく思っている

第三セクター経営統合の遅れを問う

**質問** 統合に向けた予算が議会で承認され、1年も経たないのに計画が遅れたことは、コンサルも含め、ずさんな計画だったのではないかと。また、統合が遅れることで、運転資金や新たな経費が発生するのではないか。

**答弁** 三セク4社の株主と取締役への説明や新会社の社長の人選、法人化のための官報への公告及び税務上の手続きに日数を要す。見通しが甘く、大変申し訳なく思っている。9月1日の統合まで資金不足にはならない。

**質問** 市民から、クリオンの宿泊施設存続の要望書が提出されているが、どのように向き合っていくのか。

**答弁** 4施設すべてを存続させたいが、人口減少等で、これまでと同様の事業は難しい。新経営陣が、コンサルの分析を参考に、各施設の事業を計画することになる。私も取締役として経営に拘るし、三セクの責任は、すべて市長にあると思っている。

水田活用の直接支払交付金の見直しへの対応は

**質問** 仙北市での、交付対象外となる農地の面積と、交付金の減額はどれくらいを想定しているのか。また、対象外となった農地をどのように活用していくのか。

**答弁** 交付対象外となる農地は、そば、大豆、牧草、調整水田の合計で1,229.6haであり、1億6,544万5千円の減額見込みである。

交付対象外となれば、離農や耕作放棄地が増えるという認識をもち、市として、しっかりと取り組んでいく覚悟である。

**質問** 県でも反対要望しているが、仙北市も隣接市町村と歩調を合わせて要望活動するべきではないか。

**答弁** 仙北市は、佐竹知事及び県内の市町村と共に、農林水産省に反対を表明して要望活動していく。

若年層が就職や移住で仙北市に定着できる取り組みについて

**質問** 若い人たちの働ける場

所があって、出会いがあって、子育てができる環境を充実させることが、仙北市の人口減少の速度を緩める施策と考えるが、市の取り組みはどうか。

**答弁** 私も若い方々が定住する施策が重要と考えている。県内は勿論のこと、県外で学ぶ学生にも、地元企業の魅力と求人情報を詳しく届けたい。また、特に若い女性が働きたいと思える企業の誘致を私の任期中に実現したい。

**質問** 就職や移住で仙北市に定着された方々に感謝の意を込め、市を挙げて歓迎するようなことをしたらどうか。

**答弁** 県外出身者とのご縁を繋げていけるようなイベントを検討したい。

仙北市の機構改革について

**質問** 行政組織にとって、機構改革は大事であるが、今年度は、〇〇室、〇〇班がやたらと増えて、市民は何をする



■5年に一度は水張り（水稲作付）が必要となる交付金対象の麦畑

ところなのかわからない。名前にこだわらず、仙北市の重点課題に迅速に対応して、成果を市民にしっかりと示すことが重要ではないか。

**答弁** 確かに室・班が多くなったが、行政のデジタル化や火除け設置の専門部署を設け、仙北市の覚悟を示したかった。市民に対しては、その意義についてもご理解いただけるよう努めたい。また、事務事業評価も進めており、これまでの事業をしっかりと評価したうえで、仙北市の重点課題に対応できる事業を精査していきたい。

(高橋輝彦記)

## 財政難の中 市民サービスの向上を図る施策は

高久 昭二 議員



市長

## 市民が必要とする 政策や予算を振り分けられるよう行政改革を進める

### 傷んでいる市道・橋の整備計画は

**質問** 痛んだ道路を放置すれば、交通上危険な事態が発生しかねない。当初予算で道路維持費はいくらか。また、横町橋や内川橋は、市の交通手段上、重要な役割を果たしている。大規模改修前に補修を行うことはできないか。

**答弁** 市道の舗装補修は、舗装の長寿命化を図る点から、年3回のパッチング工事や直営による穴埋め等随時実施している。道路改良工事や舗装の打替え工事についても、優先順位を勘案しながら、計画的に進めている。内川橋は、老朽化が進んでおり、早急な改修等の措置が必要と考えている。

**答弁** (建設部長) 令和4年度の道路維持費予算は、約4,800万円である。不足が生じた時は補正対応をしている。内川橋については、令和3年度に、橋りょうの補強・補修設計、詳細設計を実施している。今年度は、工事の着手に向けて各種事業者との協議及び交通量調査を実施する。できるだけ早い着手に努めたい。

### 市税徴収の改善と市遊休不動産の処分と収入増を

**質問** 納税相談は窓口対応となっているが、新たに納税相談コーナーを設けることはできないか。

**答弁** (税務課長) 庁舎の関係上、設けていないが、状況に応じて会議室の使用や、場合によっては自宅を訪問するなど対応をしている。

**質問** 市民に対する特別徴収専門員の対応が、威圧的で脅しと捉えられるような言動があったという声を聞くが、改める意思はあるのか伺う。また、滞納額が多い方に、催告状を出した後、予告なしで差し押さえをする事例があった。お詫びする必要があるのではないか。

**答弁** 威圧的な言動による徴収は言語道断である。今後しっかりと指導していききたい。

**答弁** (税務課長) 滞納を減らすことは、市の財政を楽にし、市民生活も楽になるので、市税の徴収に努力しなければならない職務上の義務がある。心を鬼にして対応していることをご理解いただきたい。威

圧的な態度や権限を過度に行っている場合は、その都度ご指摘をいただきたい。

差し押さえについては、予告通知の必要がないことを認められている。財産調査をしていくと、多額の預金や、多額の保険を掛けているのが見受けられるので、その際には、スピード感をもって差し押さえをしていることのご理解をお願いしたい。特にお詫びをする予定はない。

**質問** 市の遊休不動産は、収入が得られず、維持管理費がかかる。収入を得られるような対策をとるべきではないか。

**答弁** 遊休不動産をいくらからでも売却して、厳しい財政の中で、市の財源とするのは正しい選択だと思いが、なかなか買手がつかない状況にある。

### 田沢湖神代黒倉遺跡群の出土品の活用を

**質問** 黒倉地域住民の方の中には、農耕や作業等の時

に、出土した土器、化石その他の貴重なものも保存している方がおり、後世に伝える手立てを模索されている。展示や小・中学校の歴史教材として活用できないか。

**答弁** 展示可能であれば、市民のみならず見られる形で、展示できるように検討したい。

**答弁** (須田教育長) 郷土の事を学ぶことは非常に重要な事であり、実感・体感する授業を前向きに検討したい。

(平岡裕子記)



■市民はお客様。丁寧な窓口対応を心掛けています



蒼生会 高橋輝彦 議員

角館総合病院の再診察の待ち時間の改善を

市長

改善策を模索しながら  
経営改善の一環として取り組んでいく

投票環境の整備について

**質問** バス等による移動期日前投票所の導入は考えているのか。また、投票所までの送迎については。

**答弁** (選管事務局長) 移動式期日前投票所で使用する、無線の専用回線を利用した選挙人名簿対照オンラインシステムの導入を検討している。これにより、場所にとらわれず選挙人名簿の対照が可能となり、バス等による移動式期日前投票所や当日の共通投票所の設置が可能となる。令和7年秋田県知事選からの導入を目指したい。

移動式期日前投票所の導入と共に、当日投票所までの巡回など、選挙人の移動支援の施策も検討したい。

**質問** 選挙公報について、告示日の発行は出来ないのか。

**答弁** (選管事務局長) 選挙公報の掲載申請の締切りが告示日の午後5時までとなっているため、告示日の発行は困難である。

第三セクター経営統合について

**質問** 三セク4社の従業員

は、統合後の新会社の事業再編等が定まらないなかで、雇用体系に関して不安な気持ちで仕事をしている状態だが、各社の社員への三セク合併の説明は実施しているのか。

**答弁** 経営統合に関する状況については、各施設の現場責任者を通して社員への説明を行っている。新会社の設立後に新経営陣が経営計画を明確にした段階で、今後の雇用についても説明する予定である。現段階では何人減らすなどは決まっていない。従業員をないがしろにするようなことは考えていない。雇用の確保も十分考えていく。

角館総合病院の再診察の待ち時間の改善について

**質問** 再診察の指定時間を、15分単位にするなど、もっと小刻みに指定することで、待ち時間を短くすることに繋がらないか。また、待ち時間が長くなる患者様に対するお声がけを、こまめに行っているか。

**答弁** (医療局長) 再診察の指定時間は、担当医が予約を行っている新患状況等を考慮して決めている。変更には、医師及び

関係部門との協議が必要であり、15分単位の指定が可能か検討したい。全体では、待ち時間の改善が図られているが、一部の診療科において、未だ待ち時間が相当に長い場合があることから、改善策を模索しながら、経営改善の一環として取り組んでいきたい。また、患者様へのお声がけについては、最も基本的で重要な患者様サービスである。待ち時間など、その時々状況をお伝えすることを徹底したい。

落合運動公園施設改修事業について

**質問** 平成29年度作成の基本設計について、コストダウンを反映した、令和4年度バージョンにするため、仙北市野球連盟と協議して、見直しを図り、現時点での概算工費を算定するよう、建設部に指示して欲しい。

**答弁** 基本設計の見直しにより、コストダウンに繋がれば、



令和7年開催の天皇杯までの改修が待ち望まれる落合球場

てくる可能性もあるので、設計見直しについて、建設部に指示する。

**質問** 現時点でいくらかかるかの資料を持って、議長を初めとする議員団と市長も一緒に、県と国にお願いに行きませんか。

**答弁** いくらでも行く。土下座してお金が出れば、いくらでも土下座する覚悟である。是非、総力戦で可能性を追求したい。

(真崎寿浩記)

既存の学校再編の規模を  
どの程度にしたいのか

蒼生会 武藤 義彦 議員



市長 具体的な計画は白紙であり市民の皆さまと共に検討する

市内小・中学校の適  
正配置について

**質問** 今年度、学校適正配置準備室を設置し、令和8年度までに学校適正配置再編計画を策定する予定のようだが、この再編計画は地域の声を踏まえた計画になるのか。

**答弁**（教育長） 7月5日まですべての小学校区で、一般市民を対象に、現状と課題の説明と、市全体の学校の規模や配置のあり方について、意見交換を行う予定である。令和5年度からは、その実現に向け、手段としての統合も含みながら、市民の皆様と意見交換を重ねて具体化していく。統合する場合には組み合わせやその時期も含めた形で、令和8年度までに学校適正配置計画を作成したいと考えている。

**質問** 現段階で既存の学校再編の規模の考えはあるのか。

**答弁**（教育長） 教育委員会が、統合ありきで検討を進めるべきではないと考えている。具体的な計画は白紙であり、これから市民の皆様と共に検討していく。

**質問** 小・中一貫校や義務教育学校等を検討されたことはあるのか。

あるのか。

**答弁**（教育長） 踏み込んだ調査検討は行っていないが適正配置に向けた方法の一つとして、今後情報収集する等、調査検討を行っていく。

花いっぱい運動の活動について

**質問** 花いっぱい運動の苗の配布の予算減額は、行財政計画の一環なのか。また、今後事業の打ちきりとなるのか。

**答弁**（教育長） 事業全体を考えた場合、ボランティアの減少、安全対策、苗の確保の仕方などの見直しがあればいい。

令和5年度以降を見据え、花いっぱい運動に係るあり方検討委員会を設置して、持続可能な事業の進め方について方向性を示したいと考えている。

なお、行財政改革の一環ではない。

食品衛生法改正に伴う清物加工事業者への対応について

**質問** 市内事業者の数や売り上げは把握できているのか。

**答弁** 事業者の数は把握できている。実態調査を実施し

たが、回答が少なく、正確な売り上げの把握は出来ていない。

**質問** 今後、設備投資も必要と思われるが、経営存続等の意向調査等は実施しているのか。

**答弁** これまでは、設備投資を踏まえた経営存続調査までは実施していなかった。今後は、経営存続も含めて、加工施設整備の聴き取り調査を実施したいと考えている。

防災無線の不具合について

**質問** 防災無線の不具合の苦情が聞かれるが、その原因を把握しているのか。また、その対応策は。

**答弁** 桧木内の中継局のアンテナが雪で破損していることを確認しており、早急に修繕する予定である。災害等の緊急時は、市の広報車や消防団による広報などで情報発信を強化する。



■雪で破損していた桧木内地区防災無線中継所

**質問** 使用年数などにより、機器更新が必要な地域があるのではないかと。

**答弁** 田沢湖地区と西木地区は耐用年数が過ぎていますが、財源の問題があり更新できていない。様々な可能性を追求しながら、市民の皆さまには、しっかりとした情報を提供できるように検討していく。

（高久昭二記）